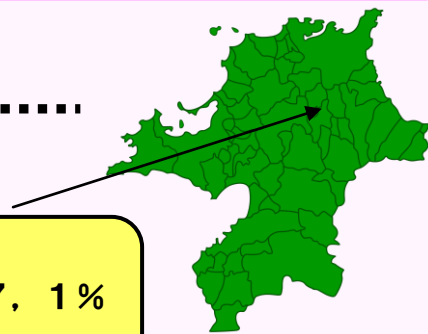


社会福祉法人 田川市社会福祉協議会

〒825-0002 田川市大字伊田2735-13 スマイルプラザ田川内
TEL0947-44-5757 / FAX0947-44-5756



田川市のデータ【平成24年1月1日現在】

人口 50,870人 世帯数 24,305世帯 高齢化率 27.1%
自治会数 96 民生児童委員数 120人

見守りのキーワードは「地域の連携」

●指定事業実施の背景

本市の高齢化率は年々上昇しており、高齢者の孤独死や孤立化の問題は一層深刻化しているが、高齢者世帯の実態把握や見守りネットワークの構築は未整備な状況にあった。

また、これまで災害による大きな被害を受けたことがないため、災害時における要援護者の避難・安否確認のために、平常時から状況把握をしておくことの重要性について、住民の理解を十分に得られていない状況であった。

指定事業を進めるにあたっては、市内8中学校区に設置されている校区活性化協議会と連携して見守り活動を進めることを見本とした。

●2年間の軌跡 活動の概要

高住町地区（行政区）をモデル地区として、台帳を基に見守り活動を行い、その成果と反省を踏まえて、見守り活動パンフレットを作成した。

その後、このパンフレットを活用しながら、8中学校区の民生委員及び校区活性化協議会を対象に、見守りネットワークの必要性和今後の事業展開について説明会を開催した。

また、「いざという時シール」を見守り対象者に、また、「見守りネットワーク協力事業所シール」を協力事業所にそれぞれ配布し、目に見える形で、見守り活動の推進をアピールした。

●事業効果

急速な少子高齢化や核家族化の進展や地域での支え合いの希薄化等の問題点が挙げられる中で、具体的な対応策の一つとして「見守り活動」に取り組んでいくことは、孤独死の防止をはじめ、閉じこもりや社会とのつながりを維持するために極めて有効であり、基盤作りなど一定の成果は得られたと感じている。

担当者の声

東日本大震災以降、全国各地で「見守り活動」が再び注目され、本市でも多くの市民から「見守り」の進め方等についての問い合わせが増えたように感じます。一方で、「見守り活動」を進めていくうえでの個人情報の取り扱いに対する考え方は様々であり、また、地域での孤独化・孤立化の進展は予想以上で、見守り体制をつくるのが難しいケースもありました。

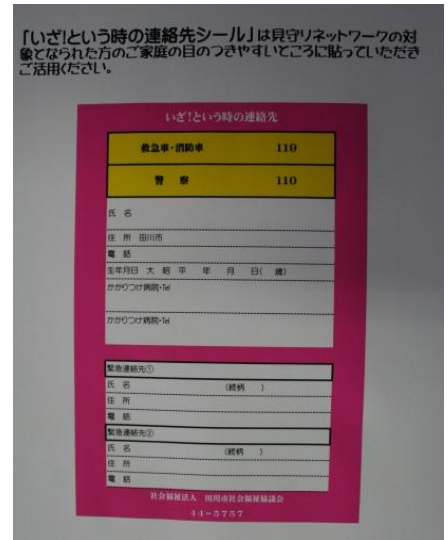
今後は、これらの問題や課題を整理し、ネットワークを構築していく際の課題点を点検・整理していきたいと考えています。

田川市社会福祉協議会 平畑 尚文 氏

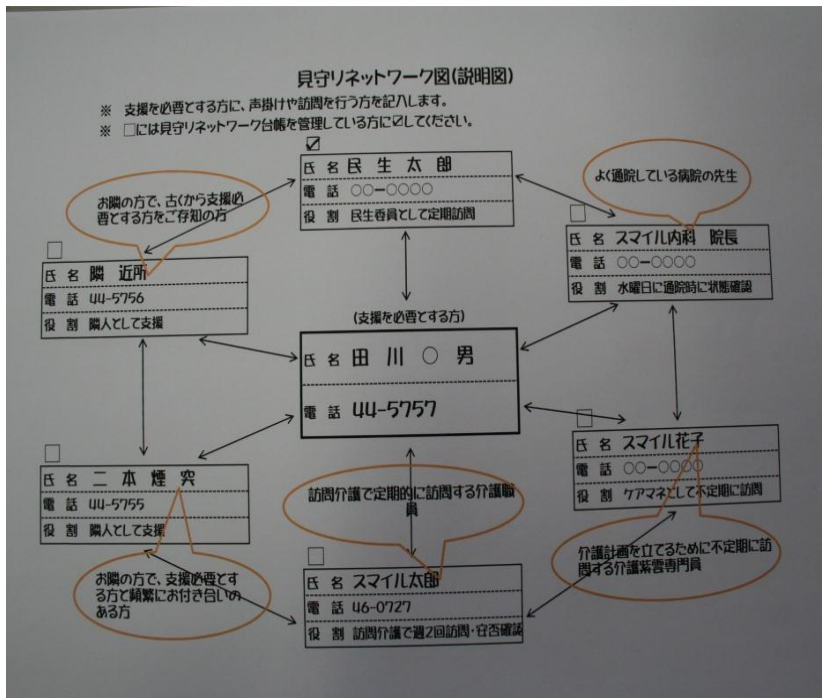
活動のあしあと



パンフレットを活用してネットワーク活動説明会を開催



「いざという時シール」
見守り対象となるご家庭の見えやすい所に貼ってもらう



見守りネットワーク体制図



「見守りネットワーク協力事業所シール」郵便局・電気・ガス・水道事業者等を協力事業者として登録

今後の取り組みと目標

この2年間は、「見守り活動」を推進するための地盤作りを進めた。

少子高齢化の波は本市でも急速に進み、地域での支え合いや助け合いが薄れつつある中での「見守り活動」の再構築には、多くの方のご理解とご協力を必要とした。

このような中で、地域の民生委員児童委員さんや区長さん等多くの方のご協力をいただきながら、活動の基盤づくりを進めることができた。

今後の取り組みとして、「見守り活動」を通して地域での「支援力」と「受援力」の向上を図ることで、災害等にも強いまちづくりを進めていきたいと考えている。